



令和5年1月30日
小田原市立酒匂幼稚園

ほし組

冷たい風が吹き寒い日が続いていますが、子どもたちは凧あげやドッジボール、マラソンをして、寒さを吹き飛ばし、毎日元気いっぱい過ごしています。

そんな中、スイセンの芽が少しずつ顔を出してきました。春が来るのも、もう少し！元気いっぱいのほし組さんと、残りわずかな幼稚園生活が充実したものになるよう、皆で楽しく過ごしていきたいと思います。

1月の様子



がんばってみたいこと

冬休みに楽しかった話を聞いてみると、神社へ初詣に行った子どもたちが数名いました。“絵馬”と言ってもピンとこない様子でしたが、教師が画用紙で作ったものを見せると、「見たことあるかも。」と言う子もちらほら。お願いごとや頑張りたいことを書くことを知らせ、園でもつくってみることにしました。“こまを回したい。”“縄跳び20回跳びたい”と、それぞれ考えながら書いていました。



凧づくり～酒匂小学校で凧あげ

お正月遊びを楽しむ中で、「凧あげたことある？」と尋ねると、「年少さんのときにつくった！」と言う子、「ない！」と答える子もいました。(海のタコを思い浮かべる子もいました！)そこで、教師が凧をつくってみると、興味をもった子から凧づくりが始まりました。始めは教師がつくり方を伝えていきますが、しばらくすると、つくり方が分かった子が、友達に教えてくれていました。子どもたちの成長を感じられた瞬間であり、とても嬉しかったです。凧の型取りをしたカラービニール袋を切り、好きな絵をかき、竹ひご、たこ糸、しっぽを付けて完成です。それぞれ、しっぽを沢山付けたり長くしたりと、工夫してつくっていました。

できた子から戸外にあげにいきますが、園庭だとどうしても引っかかったり、友達とぶつかって絡んだりしてしまいます。「どうしたらいいかな？」と尋ねると、「広いところがいい！」「小学校が広いかも！？」と言う意見が出てきたので、早速小学校に連絡をして広い校庭で思い切り凧あげをしました。「楽しい～！」と本当に嬉しそうな表情で思いきり走っていました。

持ち帰る予定ですので、是非一緒に遊んでみてください♪

もうすぐ豆まき♪

いろいろな製作を経験してきた子どもたち。年長組の今年度の鬼の面は、“はりこ”を2人1組で協力してつくっていくことにしました。始めは、「糊を使うの？」「大変そう。」と、躊躇する子も中にはいましたが、いざ、つくり始めると、「やってみると楽しい！」と、集中して糊付けをはじめました。何事も挑戦してみる事が大切であることを、子どもたちと話しました。2人で一緒に糊を付け、貼るという作業を繰り返すペアもいれば、「○○ちゃん付けて、ぼく押さえるから。」と、分担作業をしているペアもいて、個性があり面白かったです。十分に糊が乾いたら、画用紙を使って顔をつくり上げていきました。「可愛い鬼がいい。」「まつ毛も付けたい。」と、いろいろな表情の鬼が出来上がっていきました。

豆入れは、自分の好きな箱やカップを使用し、持ち手を付けました。箱に模様を付ける前に画用紙を張り付けている場面で、「画用紙をこの形に切るには、どうしたらいいんだっけ？」「こうやって、紙の上に箱をおいて大きさを見るんだよ。」という話し声が聞こえます。教師は、子どもたちの姿を見守っていました。自分で、画用紙を必要な大きさに切り貼りながら、思考力、判断力、表現力など、遊びの中でいろいろな力が身に付いています。

またいろいろな製作を経験してきたことで、ハサミの使い方も上手になっています。どんなお面、豆入れができたか、完成を楽しみにお待ちください。



<2月はこんな遊びをしたいな>

☆これまでの経験を生かしながら友達と考えたり工夫したりして遊ぼう。

☆ルールのある遊びを楽しみ、体を思い切り動かそう。

☆年下の友達に親しみをもち、優しく接したり、自分たちがやってきたことを分かりやすく伝えたりしよう。